

●特集 スマホ時代の生協利用と 組合員との関係強化



従来からプリペイドカードやハウスカードによるキャッシュレス化を進めてきたみやぎ生協の店舗では、2019年度に向けてスマホアプリによるキャッシュレス決済「コープペイ」の導入準備を進めている。

現在、生協のインターネット事業は**スマホからの注文が過半**を占め、今後はデジタルネイティブといわれる**ミレニアル世代が結婚や子育て**をする時代を迎えます。ITの進化によって事業や**組合員との関係は****どう変わるのか**、有識者の知見と併せて報告します。

注目記事！

●特別企画 コープさっぽろ

広大なエリアの7割をカバーすることを目指す移動販売のポイントは**コミュニケーション**にあり



コープさっぽろの移動販売「おまかせ便カケル」は、2018年10月に90台目の運行を開始。黒字経営を続ける事業運営だけでなく、寒冷地でも環境と人に配慮した生協として車両も改善を重ねている。



〈主な連載〉

巻頭インタビュー

●わが生協、かくありたい！

福井県民生協

代表理事 理事長 竹生 正人氏

●店舗連載

これからの店舗事業のあり方を考える

●宅配連載

全国生協の宅配事業・宅配センター運営を学ぶ

第16回 青森県民生協

店舗事業に特化した生協にこだわり続け
店舗事業を通じて地域や組合員にお役立ちする

第29回 コープみらい・コープデリ連合会

現場の職員一人ひとりが働き続け、成長する組織へ
コープみらい・コープデリグループの働き方改革



生協運営資料

No.305

2019.1

B5判

奇数月 10日発行

定価 870円・年間 5,220円

購読のお申し込みは、所属生協担当窓口まで

次号「特集」予告

●特集：復興の当事者として生協が果たす役割を考える（仮）

昨年は豪雪・震災・豪雨が複数発生する災害の多い一年でした。生協は募金やボランティアなどで復興を支援する他に、事業者として被災地のくらしと職員を守る義務があります。昨年の災害時のBCPを検証し、これからの課題を明らかにします。

日本生協連 広報部 出版G Tel 03-5778-8183